



第142号

発行/
北海道健康づくり財団
札幌市中央区大通西6丁目
TEL (011) 232-5500
FAX (011) 232-4091
https://www.hokkaidohealth-net.or.jp

『令和5年度案内件数の分析 ～ウィンドウ2024から～』

令和5年度における救急医療情報案内センターの案内件数は、49,494件となり前年度と比較すると2,720件の増になりました。地域別では6地域すべてで増加、診療科別では内科で2,818件の増加、小児科で736件の増加となりました。

また、北海道救急医療・広域災害情報システムのホームページの総アクセス数は、ロボット検索も含め1,250,927件と前年度1,059,926件より191,001件の増となっており、年々増加傾向にあります。

案内件数が増加した主な要因としては、新型コロナウイルス感染症における行動制限が解除されて外出する機会が多くなり、人との接触が増えてきました。これに伴い免疫が低下している時に罹りやすくなる風邪やインフルエンザなどの患者が増えた影響もあると考えられます。一年を通して月別の案内件数では季節性

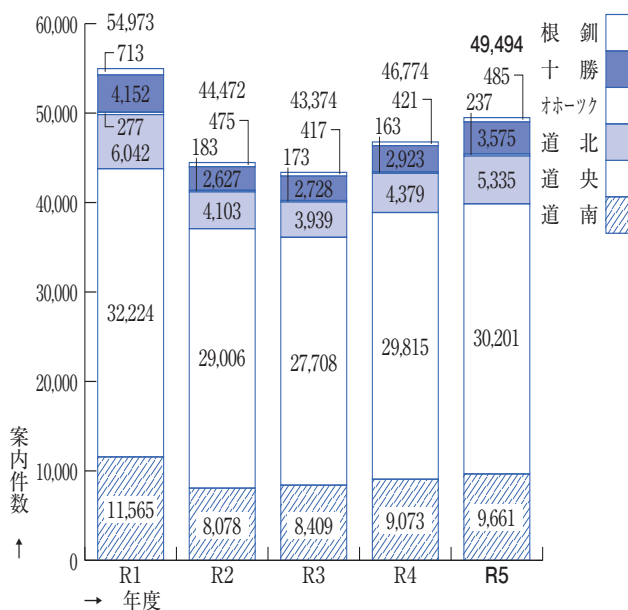
の感染症の流行があった12月が最も多く、前年より681件増加。次いで季節外れの感染症が流行した8月が前年より558件増加となりました。

さて、2月中旬の北海道は、各地で2月の最高気温の記録を更新する暖かさが続きました。このまま雪解けが進むのではないかという思いは外れて、下旬になると再び強い寒気が流れ込み、大雪が降りました。3月に入ってから札幌ではマイナス5度以下の日が1週間以上も続く記録的な寒さとなりました。春と冬が行ったり来たりする気候を繰り返しましたが桜の開花予想はほぼ平年並みとなり、このEMIC通信がお手元に届く頃には、春の陽気を感じられてお花見が楽しめる頃になっていることと思います。

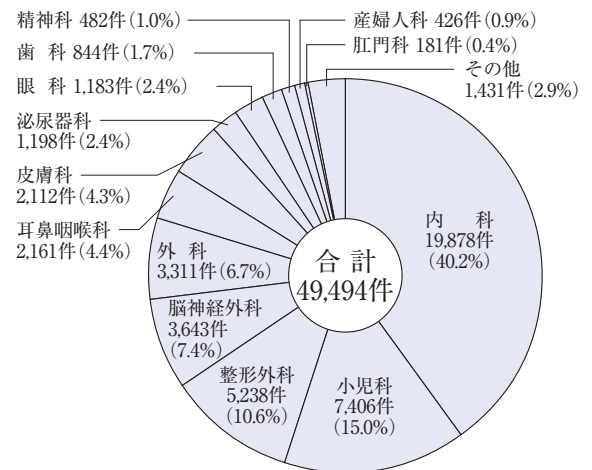
当財団では4月より2名の職員を採用いたしました。新年度を迎えて気持ちも新たにオペレーターをはじめ関係職員一同、道民の皆様が安心して医療機関を受診できるように一層の努力をしておりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



1 年度別地域別案内件数の推移 (令和元年～令和5年度)

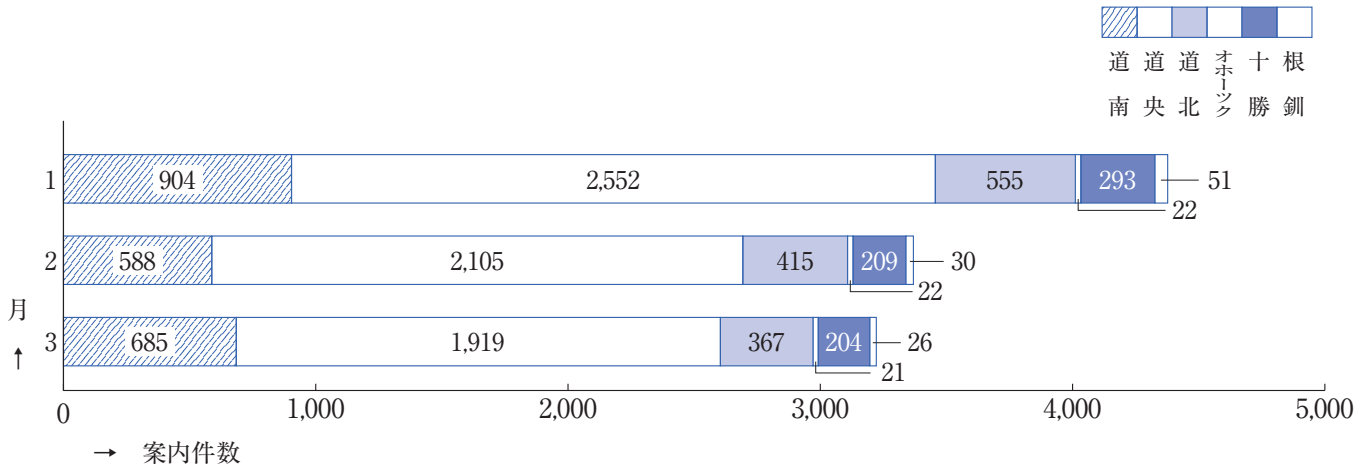


2 診療科別案内件数 (令和5年度)

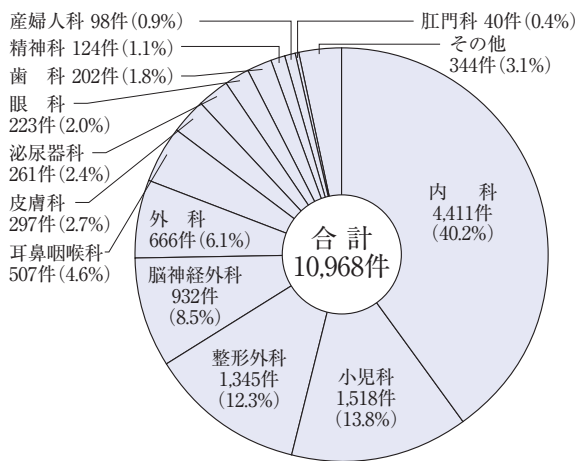


救急医療情報案内センター案内状況（1月～3月）

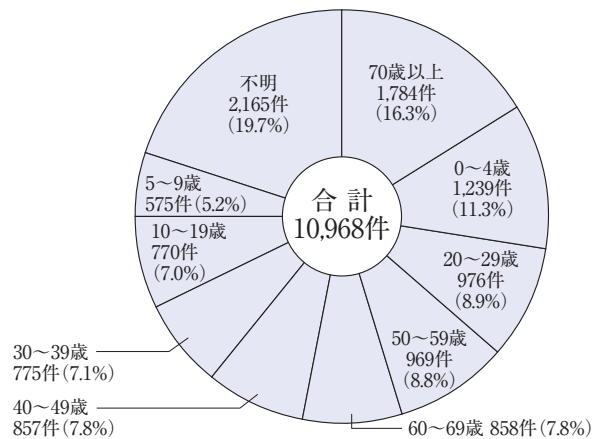
(1) 月別地域別案内件数



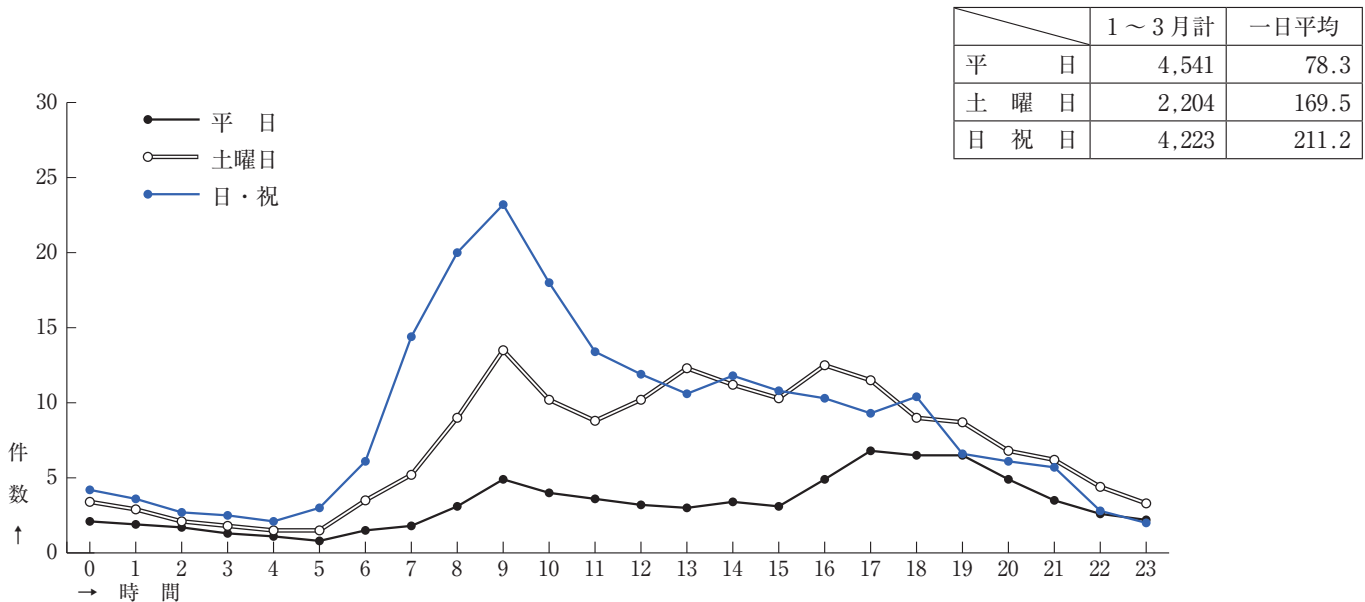
(2) 診療科別案内件数



(3) 年齢階級別案内件数



(4) 曜日別時間帯別1日平均案内件数

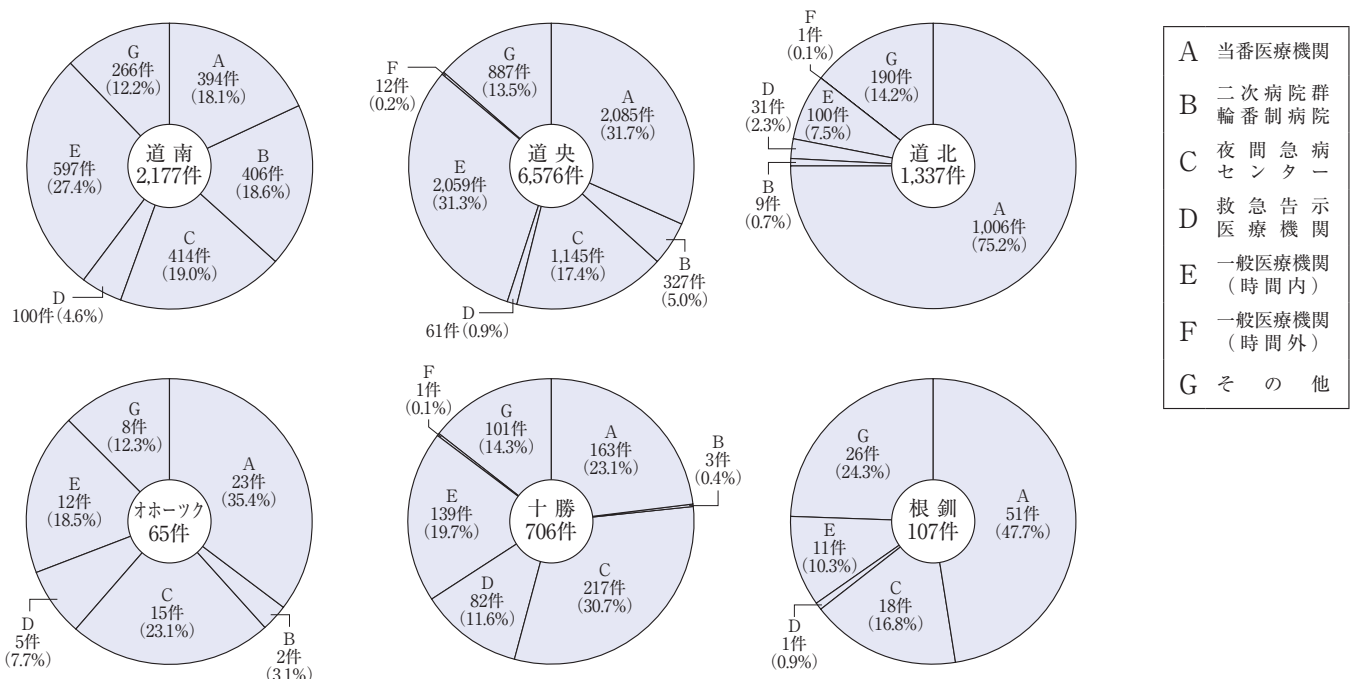


(5) 市町村別案内件数

道南 (18市町村)		道央 (70市町村)											
函館市	1,856	札幌市	4,609	伊達市	25	神恵内村		北竜町					
北斗市	167	小樽市	142	北広島市	227	積丹町		沼田町	1				
松前町		室蘭市	55	石狩市	162	古平町	2	豊浦町	2				
福島町	3	夕張市	5	当別町	24	仁木町	1	壮瞥町	1				
知内町	3	岩見沢市	36	新篠津村	6	余市町	9	白老町	9				
木古内町	4	苫小牧市	129	島牧村		赤井川村	19	厚真町	4				
七飯町	96	美唄市	5	寿都町		南幌町	27	洞爺湖町	2				
鹿部町	20	芦別市	2	黒松内町		奈井江町	1	安平町	9				
森町	13	江別市	466	蘭越町	1	上砂川町	1	むかわ町	3				
八雲町	5	赤平市		ニセコ町	7	由仁町	10	日高町	19				
長万部町		三笠市	1	真狩村	1	長沼町	25	平取町					
江差町	4	千歳市	223	留寿都村	5	栗山町	4	新冠町	4				
上ノ国町	3	滝川市	9	喜茂別町	2	月形町		浦河町					
厚沢部町	1	砂川市	2	京極町		浦臼町		様似町					
乙部町		歌志内市		倶知安町	7	新十津川町		えりも町					
奥尻町		深川市	10	共和町	2	妹背牛町	1	新ひだか町	6				
今金町	1	登別市	29	岩内町	2	秩父別町	1	計	6,576				
せたな町	1	恵庭市	220	泊村		雨竜町	1						
計	2,177												

道北 (41市町村)		オホーツク (18市町村)		十勝 (19市町村)		根釧 (13市町村)	
旭川市	1,251	美深町		帯広市	544	釧路市	103
留萌市	2	音威子府村		音更町	73	根室市	
稚内市	2	中川町		士幌町	6	釧路町	
士別市	4	幌加内町	1	上士幌町	7	厚岸町	
名寄市	6	増毛町	1	鹿追町	2	浜中町	
富良野市	3	小平町		新得町	7	標茶町	
鷹栖町	7	苫前町		清水町	5	弟子屈町	
東神楽町	9	羽幌町		茅室町	15	鶴居村	
当麻町	7	初山別村		中札内村	3	白糠町	2
比布町	4	遠別町	1	更別村	2	別海町	2
愛別町	3	天塩町		大樹町	2	中標津町	
上川町	1	猿払村		広尾町	2	標津町	
東川町	7	浜頓別町		幕別町	29	羅臼町	
美瑛町	17	中頓別町		池田町	3	計	107
上富良野町		枝幸町		豊頃町	1		
中富良野町	1	豊富町		本別町	2	合計	10,968
南富良野町		礼文町		足寄町	1		
占冠村	9	利尻町		陸別町			
和寒町	1	利尻富士町		浦幌町	2		
剣淵町		幌延町		計	706		
下川町		計	1,337				

(6) 地域別・案内機関別件数



応需情報の登録と検索状況（1月～3月）

(1) 医療機関

地域別	郡市医師会別	応需登録 機関数 (A)	登 録				検 索			
			機関数 (B)	B/A (%)	延件数 (C)	C/B (件)	機関数 (D)	D/A (%)	延件数 (E)	E/D (件)
道南	函館市	18	10	55.6	883	88.3	1	5.6	4	4.0
	渡島	7	1	14.3	21	21.0	0	0.0	0	0.0
	松山	5	1	20.0	36	36.0	0	0.0	0	0.0
	北部松山	2	1	50.0	2	2.0	1	50.0	75	75.0
	小計	32	13	40.6	942	72.5	2	6.3	79	39.5
道央	札幌市	67	28	41.8	2,451	87.5	2	3.0	3	1.5
	江別	6	1	16.7	222	222.0	1	16.7	127	127.0
	石狩	3	1	33.3	73	73.0	0	0.0	0	0.0
	千歳	4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	恵庭市	4	3	75.0	371	123.7	0	0.0	0	0.0
	北広島	2	1	50.0	98	98.0	1	50.0	222	222.0
	小樽市	8	7	87.5	1,128	161.1	2	25.0	7	3.5
	寿都	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	羊蹄	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	岩内古宇郡	1	1	100.0	59	59.0	1	100.0	197	197.0
	余市	1	1	100.0	83	83.0	0	0.0	0	0.0
	室蘭市	5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	胆振西部	3	1	33.3	34	34.0	0	0.0	0	0.0
	苫小牧市	7	2	28.6	129	64.5	0	0.0	0	0.0
	日高	4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	岩見沢市	6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	空知南部	4	1	25.0	1	1.0	1	25.0	8	8.0
	夕張市	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	三笠市	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	美唄市	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
空知	2	1	50.0	256	256.0	0	0.0	0	0.0	
滝川市	2	1	50.0	14	14.0	0	0.0	0	0.0	
赤平市	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
芦別市	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
深川	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
小計	137	49	35.8	4,919	100.4	8	5.8	564	70.5	
道北	旭川市	17	6	35.3	712	118.7	1	5.9	2	2.0
	富良野	2	1	50.0	96	96.0	0	0.0	0	0.0
	上川郡中央	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	上川北部	6	1	16.7	897	897.0	0	0.0	0	0.0
	留萌	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	宗谷	12	1	8.3	66	66.0	0	0.0	0	0.0
小計	41	9	22.0	1,771	196.8	1	2.4	2	2.0	
オホーツク	北見	6	1	16.7	138	138.0	0	0.0	0	0.0
	紋別	5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	遠軽	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	美幌	3	1	33.3	108	108.0	0	0.0	0	0.0
	網走	5	2	40.0	76	38.0	0	0.0	0	0.0
	小計	21	4	19.0	322	80.5	0	0.0	0	0.0
十勝	帯広市	9	3	33.3	385	128.3	1	11.1	7	7.0
	十勝	13	2	15.4	144	72.0	0	0.0	0	0.0
	小計	22	5	22.7	529	105.8	1	4.5	7	7.0
根釧	釧路市	12	4	33.3	464	116.0	0	0.0	0	0.0
	根室市外三郡	4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	16	4	25.0	464	116.0	0	0.0	0	0.0
合計		269	84	31.2	8,947	106.5	12	4.5	652	54.3

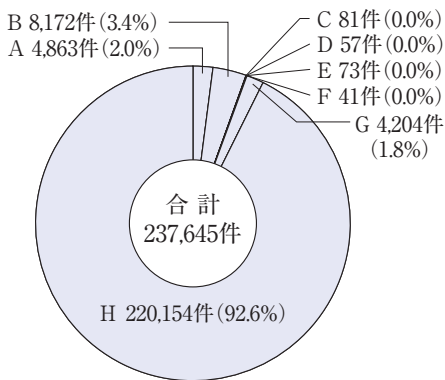
応需登録機関数、登録及び検索数は、令和6年3月末日を対象にしています。

(2) 消防機関

地域別	参加機関数(A)	検 索			
		機関数(B)	B/A(%)	延件数(C)	C/B(件)
道 南	20	1	5.0	2	2.0
道 央	48	15	31.3	4,400	293.3
道 北	14	0	0.0	0	0.0
オホーツク	13	0	0.0	0	0.0
十 勝	18	5	27.8	1,146	229.2
根 釧	15	1	6.7	10	10.0
合 計	128	22	17.2	5,558	252.6

道民向けホームページ利用状況 (1月~3月)

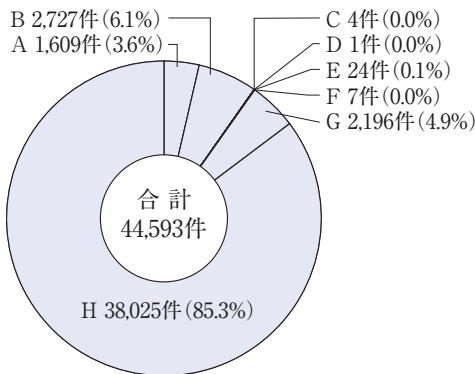
平日



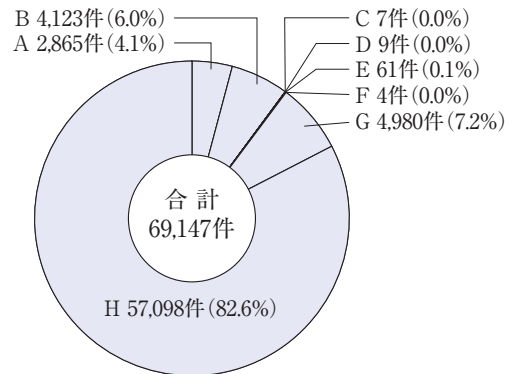
項目	平日	土曜日	日曜日	合計
A キーワードで探す	4,863	1,609	2,865	9,337
B 診療科目から医療機関を探す	8,172	2,727	4,123	15,022
C 予防接種のできる医療機関を探す	81	4	7	92
D 健康診断のできる医療機関を探す	57	1	9	67
E 専門医から医療機関を探す	73	24	61	158
F 禁煙外来のある医療機関を探す	41	7	4	52
G 休日・夜間に対応している医療機関を探す	4,204	2,196	4,980	11,380
H 場所と科目から医療機関を探す	220,154	38,025	57,098	315,277

※「H 場所と科目から医療機関を探す」には、検索エンジン (Google、Yahoo! など) のロボットアクセスによる件数も含んでいます。

土曜日



日曜日



いきいき INFORMATION

令和5年度の高齢者緊急通報システム

受信センター業務を終えて

日頃から当財団の高齢者緊急通報システム事業に多大なるご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

令和5年度は41市町村からご契約いただき、緊急通報装置の設置数は1,486世帯(年度末)となりました。

通報受信総数は、6,185件でそのうち緊急として対応した件数は184件となりました。緊急として対応した中では消防への出動要請等が144件、転倒等で起き上がりえず協力員や市町村担当者等の方々に出向していただいた事例は33件ありました。

今年度も職員一同、誠意をもって対応して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

《実施状況》

(令和6年3月31日現在)

- 受託市町村数 41市町村
- 設置世帯数 1,486世帯
- 受信件数 6,185件
(緊急184件/緊急外6,001件)
- ◇安否確認・健康相談
電話サービス実施市町村数 37市町村
(うち、毎月実施市町村数 13市町村)
- ◇延実施世帯数 8,693件

※市町村直営方式から外部委託もしくはシステムの変更をご検討されておりましたら、お気軽にご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

健康づくり INFORMATION

●健康教育用教材の貸出

今年度は新規教材として、薬物、特定保健指導、熱中症・ヒートショックに関するDVDや、下表の糖尿病シリーズのパネル教材などを整備しましたので、健康イベント・教室等では是非ご活用ください。

新規教材名	内 容
ハードパネル 糖尿病シリーズ②	「糖尿病ってなに?」「糖尿病を予防する食事」「わたしも糖尿病かも!?!」「糖尿病性腎症予防のために」「放置しないで糖尿病」を掲載。(A1サイズ5枚組)
ハードパネル 糖尿病と歯周病 シリーズ	「影響しあう 糖尿病と歯周病」「糖尿病と歯周病 早期発見・治療」を掲載。(A1サイズ2枚組)
フードモデル カルシウム摂取 指導用食品 (30種)	カルシウムの多い食品とカルシウムの吸収を助けるビタミンDの多い食品のセットです。骨粗しょう症の予防や、学童・青年期のカルシウム摂取の必要な方への指導に適しています。フードモデルのほか、「骨粗しょう症モデル」を整備しました。

(注) 各教材の詳細については、当財団ホームページの「健康情報ライブラリ検索システム」でご確認ください。

●「特定健診・特定保健指導従事者～初任者研修会」の開催 標記研修会を次のとおり開催します。

- <日 時> 令和6年6月27日(木)～28日(金)
- <場 所> 北海道医師会館 8階会議室
(札幌市中央区大通西6丁目6)
- <対象者> 道内の医療保険者に所属する医師・保健師・管理栄養士で特定保健指導の従事経験が1～3年目の者
- <定 員> 120名(全講義出席できる者)
- <申 込> 当財団のホームページから申込
受講料は無料、締切は5月13日(月)

●「すこやかロード認定事業」

今年度の申請締め切りは、7月1日(月)を予定しております。申請に関してご不明な点は、企画管理部までお問い合わせください。

最近の財団の動き



- 1月29日 令和5年度第1回人材育成ワーキング会議 (Zoom)
- 2月7-8日 町民ウォーキング講座 (斜里町)
- 3月5日 第33回理事会

グラニテ

しょくいんエッセイ

『何歳から始めても』

以前、足を痛めた時に通院していた病院のリハビリの先生が、「私なんてもうダメだ。」と、落ち込んでいるご高齢の患者さんに言っていた言葉を時々思い出します。それは「何歳から始めても必ず筋肉はつけることができますよ。」「遅いということはないです。」という言葉です。

私は子供の頃から運動が好きで、というのも、父親が体を動かすことがとにかく大好きな人だったのでその影響が大きいのと思います。中学校の野球部の監督をしていた父と、野球の部活を終えた兄が帰宅すると日が暮れるまでの夕方の短い時間でしたが、よく家の前で一緒にミニ野球をしました。小学生の私と姉は球を追いかけて走り回っているだけでしたが、それがとても楽しかった記憶があります。また両親揃ってスポーツ好きだったので、野球に限らず休日など時間があれば様々な運動をして過ごす事が多く、子供だった自分は遊びとして自然と体を動かすことが好きになったのだと思います。



運動好きに育った私も、学生時代はほぼ毎日部活動で汗を流していましたが、社会人になってからは運動をしたりしなくなったりで、全く動かなくなると身体のおちこちに(古傷など)じわじわと不調な箇所が出てくるようになってしまいました。

どこかが不調だと軽いストレッチさえもやる気がなくなってしまう。そんな時に、リハビリの先生の言葉を思い出すのです。すると不思議とまたやる気が出てきて運動再開です!まずはリハビリで教わった筋力トレーニングから。地道に続けていくとやればやった分だけ効果がわかり、嬉しくて筋トレがとても好きになりました。



今は自宅で軽く動く程度ですが、何歳から始めても遅くないという筋トレの効果(成長)を楽しみに、これからもいろいろな大好きな運動を継続していきたいと思っています。

(K. S)

北海道救急医療・広域災害情報システム/HOKKAIDO Medical Information System

★救急医療情報案内センター (24時間体制)

※ 医療相談は行っておりません
フリーダイヤル

0120-20-8699

携帯電話

011-221-8699

番号はお間違えのないように

★インターネット (パソコン・携帯端末共通)

https://www.qq.pref.hokkaido.jp



QRコード

左のQRコード(2次元バーコード)を携帯端末で読み取り、登録が出来ます。